

八王子国際フレンドからのメッセージ



中国



プロフィール

名前：蘭 威巍（リン イギ）

出身地：遼寧省葫蘆島市

日本在住：3ヶ月

趣味：旅行と読書

好きな言葉：「一期一会」「心こそ大切になれ」

「笑う門には福来る」

大きな夢：中日同時通訳者

日本での暮らし紹介

2009年9月24日、飛行機が日本に到着しました。留學生活の思い出の中で、一番最初に記憶に残ったことは、成田空港の係員の女性が優しい笑顔でリムジンバスの乗り場まで案内してくれたことです。バスが出発しようとした時、その女性はバスに向けて、90度くらい腰を曲げてお辞儀しました。バスが走り出しても女性はそのままでした。そして、乗り場から離れ、私は再び振り返りました。その女性の、丁寧に立ち見送りしてくれた姿を見た瞬間、日本人のお客さんに対する誠意がきちんと伝わってきました。「私も是非誠心誠意を持って、出会った日本の友達と付き合いたい」と思うようになりました。

八王子市に住むことになってから、周りの人がたくさんの感動を与えてくれました。来てから一ヶ月後、八王子市の弁論大会の原稿を作成するために、道端で出会った方にインタビューしました。みな親切で、八王子市に関するだけでなく、人生の心得も教えてくれました。その中で、あるおばあさんの「人生は毎日試験だ。無駄なものは一つもない」という話が一番印象的です。留學がスタートしてから三ヶ月がたちました。私は中日同時通訳者を目指して頑張りつつ、人情に満ちた八王子市での生活を楽しんでいます。

私の出身地である葫蘆島市（ころとうし）は遼寧省の西南部に位置して、東は錦州で、西は山海関と接し、南は渤海遼東湾を望み、そして、大連、營口、秦皇島などとともに、渤海経済圏と謳われています。また、北京方面から山海関を出て一番はじめにある街であり、東北部の西の入り口に当たる戦略的要所でもあります。

葫蘆島市は大陸性気候ですが、モンスーンの影響を受けています。市は森林面積率35%を誇り、「山は市の中に、市は海辺に」といわれています。気候が温暖で、交通が便利で、住み心地のよいところです。



(葫蘆島市の公園)



(葫蘆島市の住宅団地)

環渤海経済圏の一部として、葫蘆島市は開発区などを設置し、有利な交通をPRしての外資誘致に余念がありません。地下資源が豊富で、鉛、亜鉛、銅、モリブデンなどの採掘が盛んな鉱業都市であり、石油化学工業、金属工業が盛んな工業都市でもあります。

物産として有名なのは、「板板溝」のなつめの実や、「ズイ中」のキウイフルーツ、クルマエビ、クラゲ、「遼西」の火鍋、杏の種のお粥など、いろいろあります。現地で食べてみたり、お土産としてもって帰ったりする観光客が多いです。

中国人は日本の侵略の苦境の中で、多くの人員、資金と物資を投入し、日本降伏後においても中国の東北に在留していた 145 万の居留民と捕虜であった人たちを日本に送還しました。その記念として、2006 年 6 月 25 日、葫蘆島市の第一高級中学（私の母校）で、在留日本人送還 60 周年記念イベントが盛大に行われました。葫蘆島市は日本居留民にとって再生の地と言えるものです。

今の葫蘆島市は日本の宮崎市と姉妹都市として、青少年の間の交流が盛んです。



(「日本僑俘遣返之地」の記念碑)



(2005・葫蘆島市と宮崎市の青少年交流)

葫蘆島の市民は「魅力的な葫蘆島市」を目指して頑張っています。市は将来に向けての重要性を踏まえ、大きく躍進しています。



(葫蘆島市の住宅団地 凱旋城)